



## 平成24年度 一橋大学大学院経済学研究科

### 特別選考による外国人の修士課程学生募集要項

一橋大学大学院経済学研究科がめざすのは、専門的な知識と分析能力を備えた研究者・実務家を数多く育てていくことです。このために学生は、大学院でスキルを磨き専門知識を獲得する必要があります。当研究科に入学を志す学生は、それまでに受けてきた教育、それによって培われた素養、本人の問題関心などの点で、様々な状況にあります。このことを前提としたうえで、前記の目的を果たすため、当研究科では、各分野のコア科目を中心として、積み上げ方式のコースワークに基づいた教育システムを採用しています。学生諸君には、入学後、自分にあったコースを見つけて、基礎から高度な専門的レベルに至るまで、体系的な学習と訓練を受けていただくこととなります。入学試験受験者に要求されるのは、したがって、ある領域に特化した専門的知識をもつことよりも、幅広い常識と、高い学習意欲・能力を備えていることです。優秀な教授陣を擁し、世界的に見てもトップクラスにあると自負する私たちのプログラムに、積極的に参加する姿勢を持つことが、なによりも必要とされます。

#### 1. 募集人員

研究者養成コースは、広い視野に立って精深な学識を養い、専攻分野における研究および応用の能力を培うことを目的としています。専修コースは、高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を養うことを目的としています。

コース	専攻	募集人員
研究者養成コース および 専修コース	経済理論・経済統計	合わせて10名程度
	応用経済	
	経済史・地域経済	
	比較経済・地域開発	

注1) 研究者養成コースは、博士後期課程進学を前提としたコースです。これに対して専修コースは、修士号取得をもって修了することを基本としています。博士後期課程進学要件は、両コース共に同一です。

注2) 専修コースでは、「公共政策」、「統計・ファイナンス」および「地域研究」の3つの専門職業人養成プログラムに参加することもできます。このプログラムへの参加選考については入学後に説明します。

#### 2. 出願資格

以下の(1)に該当し、かつ(2)、(3)、(4)のいずれかに該当する者

- (1) 外国籍を有し、入学時(平成24年4月1日)までの日本滞在期間が2年以下(注1)であること。
- (2) 外国において、学校教育における16年の課程を修了し、B.A.またはB.S.を取得した者および平成24年3月までに取得見込みの者
- (3) (2)に準ずる学歴を有する者(注2)
- (4) 学校教育法第104条第4項の規定により、学士の学位を授与された者および平成24年3月までに学士の学位を授与される見込みの者

注1) 文部科学省の日本語・日本文化研修留学生等として日本に滞在した期間を除く。

注2) 出願資格(3)による志願者は、平成23年11月30日(水)までに経済学研究科事務室あてに、出願資格についてあらかじめ問い合わせてください。

### 3. 出 願 書 類

書 類 等	提 出 者	摘 要
入 学 志 願 票	全 員	交付の用紙に必要事項を記入し、写真を貼付してください。
卒業（見込）証明書等	上記出願資格（2）（3）の出願者	出身大学の卒業証明書および B.A. または B.S. を有する証明書（ただし、卒業見込みの者は卒業見込証明書をもってこれに代えます）。なお、自分で日本語または英語に訳したものを添付してください。
	上記出願資格（4）の出願者	大学評価・学位授与機構が発行する学士の学位授与証明書、もしくは短期大学長または高等専門学校長の発行する学位授与申請（予定）証明書。
写 真 票	全 員	交付の用紙に必要事項を記入し、写真を貼付してください。
成 績 証 明 書	全 員	出身大学の学長または学部長が作成したもの。
学 業 評 価 書	全 員	交付の用紙を用い、出身大学の学長、学部長または指導教員もしくはこれに準ずる者が作成し、 <u>厳封</u> したもの（日本語または英語）。ただし、卒業後、出身大学以外の大学等に在籍している者は、その大学等の学長、学部長または指導教員もしくは研究状況や研究目標等について十分な評価をなし得る者の学業評価書をもってこれに代えることができます。
「TOEFL」の成績証明書	全 員	平成22（2010）年1月以降に実施された「TOEFL」の成績証明書。 （1）ETS から直接、一橋大学に公式の成績証明書が送付されるように手配してください。 <u>出願期間前必着</u> です（本学の Institution Code は 0436。経済学研究科の Department code は 84）。 （2）ETS から志願者本人に送付された成績証明書の写しを提出してください。 *上記（1）（2）の <u>両方</u> が必要です。 **TOEFL テスト ITP スコアの使用は認めません。
研 究 計 画 書	全 員	これまでの学習内容および今後の学習・研究の目的、進め方、方法等について、 <u>志願者の自筆で具体的かつ詳細にかつ日本語</u> で、原稿用紙A4判7～10枚にまとめたものを4部（交付の原稿用紙を用い、交付の表紙を付した正本1部およびその写し3部、計4部を提出してください）。
口述試験参考資料	全 員	交付の用紙に必要事項を記入してください。
研 究 歴 を 証 明 する 書 類	該 当 者	大学教育修了までの学校教育の課程が16年に満たない者のみ。
受験票送付用封筒	全 員	長形3号封筒（ハガキが入る大きさ）に、簡易書留相当分（380円）の郵便切手を貼付の上、受験票送付先の住所、氏名、郵便番号を明記してください。
登 録 原 票 記 載 事 項 証 明 書	全 員	市区町村長が交付する登録原票記載事項証明書（在留期間、在留資格を明記したもの）を提出してください。ただし、外国人登録を済ませていない場合は、パスポートの写しを提出してください。
検 定 料 30,000円	全 員	三井住友銀行国立支店の 口座名 「国立大学法人一橋大学経済学研究科検定料口」 口座番号「普通預金 7761762」あてに 検定料30,000円分を振り込み、明細書等の写しを出願書類と一緒に提出してください。 なお、日本政府（文部科学省）奨学金留学生は、検定料は不要ですが、その旨を証明する所属大学発行の証明書を提出してください。

注) 提出書類のうち英語以外の外国語で書かれた証明書等がある場合には、その日本語または英語訳を添付してください。

## 4. 出願方法

- (1) 研究者養成コースと専修コースとの併願は認めません。
- (2) 志願者は、上記の出願書類を一括し、郵送（書留郵便）により提出してください。書類を持参しての出願は受け付けません。封筒の表面左下に「大学院出願書類在中」と朱書きし、出願期間内に必着とします。ただし、出願期間を過ぎて到着したもののうち、平成24年1月18日（水）以前の消印のあるものは受け付けません。外国からの郵送は受け付けません。
- (3) 出願期間  
平成24年1月16日（月）から1月20日（金）まで
- (4) 出願書類の提出先  
〒186-8601 東京都国立市中2丁目1番地 一橋大学大学院経済学研究科

## 5. 選考方法

筆記試験、書類審査および口述試験の結果を総合して合否を決定します。

## 6. 筆記試験

筆記試験は、ミクロ・マクロ経済学、政治経済学、統計学・計量経済学、経済史の4科目から任意の1科目を選択してください。英語による解答も認めます。

- (1) 筆記試験期日・科目・時間

期 日	試験科目	試験時間	備 考
平成24年2月8日（水）	経済学	10:00～12:00	(1) 4科目から任意の1科目を選択。 (2) <u>辞書(英和・和英等、2ヶ国語間の対訳辞書)の持ち込みを認めます。ただし、用語集や事典類、および電子手帳タイプの辞書の持ち込みは認めません。</u>
	日本語	14:00～15:20	日本語についての試験。辞書の持ち込みは認めません。

- (2) 試験室への入室  
受験者は各試験の開始時間15分前までに試験室に入室し、指定された座席に着席してください。
- (3) 試験室の発表  
筆記試験の試験室は、平成24年2月7日（火）13時に、大学院入試関係掲示板に掲示します。
- (4) 筆記試験合格者発表  
平成24年2月14日（火）9時に、大学院入試関係掲示板に掲示します。

## 7. 口述試験

筆記試験の合格者に対して、口述試験を行います。

- (1) 口述試験期日・時間・方法

期 日	試験時間	試験方法
平成24年2月14日（火）	13:00～17:00	研究計画書にもとづいて、専攻に関連する事項、およびその他について口述試験を行います。

- (2) 試験室および時間割の発表  
口述試験の試験室および時間割は、平成24年2月14日（火）9時に、大学院入試関係掲示板に掲示します。

## 8. 試験場

東京都国立市中2丁目1番地 一橋大学  
JR中央線 国立駅南口下車、南へ徒歩約10分

## 9. 合格者発表

平成24年2月17日（金）13時に、大学院入試関係掲示板に掲示します。  
なお、合格者には通知します。

## 10. 入学手続き

### (1) 入学料の納入期間

平成24年3月6日（火）から3月13日（火）まで  
この期間内に納入がない場合は、入学辞退者となります。

### (2) 入学料の納入額

282,000円

注) 本学には、入学料の免除・徴収猶予の制度があるので、希望する場合は、入学料を納入せずに、学生支援課にて申請書類の交付を受けて、所定の期間内に申請を行ってください（入学料の納入後の免除・徴収猶予の申請はできません。また、申請を行っても不許可となることもありますので、入学料納入の準備は事前に十分行っておいてください）。

### (3) その他

入学手続きに必要な提出書類とその提出方法については、合格者に改めて通知します。

授業料（年額535,800円）については、入学後に納入することとなります。

納入時期・納入方法については改めて通知します。

入学料・授業料の納入金額は予定額であり、この納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納入金額が適用されます。

## 11. 注意事項

(1) 入学試験に関する事務は、すべて経済学研究科事務室で行います。

(2) 入学試験に関する照会は、手紙または、ファックス（042-580-8195）で送付してください。  
電話による問い合わせには応じられません。

(3) 入学までに、「出入国管理および難民認定法（昭和26年政令第319号）」において大学院入学に支障のない在留資格を有することが必要です。

(4) 外国政府派遣留学生については、入学手続き時に派遣元機関からの入学承諾書が必要です。

(5) 出願後の志望研究科、コースおよび専攻の変更は認めません。

(6) 出願書類は返却しません。既納の検定料の払い戻しは行いません。また、各種証明書は必ず原本を提出してください。複写したものは受け付けません（ただしパスポートの写しを除く）。

(7) 試験の際には必ず受験票を持参してください。

(8) 志願者が記入する書類は、すべて黒または青のペンまたはボールペンで記入してください。

(9) 身体機能に障害がある人は、出願に先立ち、経済学研究科事務室に必ず申し出て相談してください。申し出を受け、本研究科において、受験時や入学後の学習に際して可能な限り配慮します。

(10) 入学試験合格者の成績は、入学後の教育・学業支援等の目的に使用することがあります。



平成24年度  
一橋大学大学院修士課程  
入学試験写真票

経済学研究科	受験番号 ※
--------	--------

氏名	(ふりがな)	男 ・ 女
	(ローマ字)	

**写真貼付欄**

1. 写真は最近3ヶ月以内に撮影した、正面向、上半身脱帽、タテ6cm×ヨコ4cmの大きさのものを枠内に正しく貼ること。

2. 写真の裏面に志願研究科・氏名を記入すること。

日本語	※
経済学	※
口述	※

記入上の注意

- ※印欄は記入しないこと
- 性別を○で囲むこと

受験番号

※

# 学業評価書

志願者 氏名

記入欄

今までの研究の成果、将来の研究計画、志願者について特記すべき能力など参考となる点をなるべく具体的に御記入願います。

平成 年 月 日

評価者 (大学名等)

(職名等)

氏名

印

※印は記入しないこと。

受験番号
※

平成24年度

一橋大学特別選考による  
外国人の大学院修士課程  
(研究者養成コース・専修コース)  
入学志願者研究計画書

	経済理論・経済統計専攻
	応用経済専攻
	経済史・地域経済専攻
	比較経済・地域開発専攻

(志望専攻コースを○で囲み、専攻の該当欄にレ印を記入すること)

研究テーマ

---

氏名

---

- 注意
1. 交付の原稿用紙を横書きで書き、左綴じとすること。(必ず自筆)
  2. ※印欄には記入しないこと。



平成24年度  
特別選考による外国人の  
修士課程入学志願者口述試験参考資料

志願研究科	受験番号
経済学研究科	※

氏名	(フリガナ)

1. 志願者の母国語（それに準ずるものを含む）

\_\_\_\_\_ 語

2. 母国語以外に修得した外国語（日本語を除く）

\_\_\_\_\_ 語

\_\_\_\_\_ 語

\	よくできる	普通	やや困難
読む			
書く			
話す			

\	よくできる	普通	やや困難
読む			
書く			
話す			

(それぞれの外国語について、該当する欄に○をつけること。)

注意 ※印欄には記入しないこと。

## 一橋大学大学院経済学研究科要覧

- 1 大学院は、一般的並びに専門的教養を基礎として、社会科学の専攻分野を究め、高い学識と研究能力を養うことによって広く文化の向上発展に寄与すること又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培うことにより社会に貢献することを目的及び使命とする。(学則第33条)
- 2 本学大学院経済学研究科には、下記に掲げる専攻及び授業科目がある。

### 経済理論・経済統計専攻

上級ミクロ経済学	上級マクロ経済学	上級経済原論Ⅰ	上級計量経済学Ⅰ
中級計量経済学	理論経済学Ⅰ	経済数学Ⅰ	理論経済学Ⅱ
数理経済学	経済数学Ⅱ	上級経済原論Ⅱ	経済体制特論
経済システム論Ⅰ	ゲーム理論Ⅰ	経済学史応用Ⅰ	経済システム論Ⅱ
ゲーム理論Ⅱ	経済学史応用Ⅱ	計量経済学特論	上級統計学Ⅰ
確率論Ⅰ	確率・統計特論	情報処理論A	情報処理論B
中級計量ファイナンス	計量ファイナンスA	計量ファイナンスB	ファイナンス経済論A
ファイナンス経済論B	計量ファイナンス特論	上級計量経済学Ⅱ	上級統計学Ⅱ
確率論Ⅱ	基礎数理	数理構造Ⅰ	数理解析Ⅰ
応用数理	数理構造Ⅱ	数理解析Ⅱ	特別講義
ワークショップ	リサーチ・ワークショップ		

### 応用経済専攻

中級ミクロ経済学	中級マクロ経済学	国際経済学Ⅰ	国際経済政策Ⅰ
国際経済開発論Ⅰ	労働経済学Ⅰ	産業経済学Ⅰ	国際経済学Ⅱ
国際経済政策Ⅱ	国際経済開発論Ⅱ	労働経済学Ⅱ	産業経済学Ⅱ
公共経済学	金融経済論Ⅰ	租税理論	公共支出論
金融経済論Ⅱ	環境経済論Ⅰ	資源経済論Ⅰ	技術経済論Ⅰ
環境・資源経済分析A	環境・資源経済分析B	環境経済論Ⅱ	技術経済論Ⅱ
現代経済論Ⅰ	Academic and Professional PresentationⅠ	Academic and Professional PresentationⅡ	Research-Based Academic WritingⅠ
Research-Based Academic WritingⅡ	医療経済論Ⅱ	医療保険論	医療産業論
健康増進政策論・医学総論	医療管理政策論	保健医療活動とリスク管理	現代経済論Ⅱ
都市空間論	産業地理学	経済立地論Ⅰ	経済社会空間論
経済立地論Ⅱ	特別講義A	特別講義B	ワークショップ
リサーチ・ワークショップ			

### 経済史・地域経済専攻

比較経済史	日本経済論	地域経済論A	地域経済論B
地域経済論C	地域研究方法論	日本経済特論	東アジア経済特論
南アジア経済特論	西アジア経済特論	現代経済史	文明史
経済史特殊問題	西洋経済史	東洋経済史	日本経済史
各国経済思潮A	各国経済思潮B	ワークショップ	リサーチ・ワークショップ

### 比較経済・地域開発専攻

応用ミクロ経済学	応用マクロ経済学	産業開発論	比較経済システム論
開発経済論	比較経済思想	統計調査論	比較統計システム論
開発情報システム論	開発金融論	開発政策論	国際通貨論
国際経済機構論	開発援助論	国際経済関係論	人的資源論
開発と環境	地域経済各論(日本)	地域経済各論(アジア・オセアニア)	地域経済各論(アフリカ・中近東)
地域経済各論(アメリカ)	地域経済各論(ヨーロッパ)	地域経済各論(ロシア・中東欧)	地域開発論
開発途上地域論	移行経済論	比較経済発展論	社会科学用語入門
社会科学研究法入門	社会科学情報処理入門	経済データ分析入門	ワークショップ
リサーチ・ワークショップ			

- 3 修士課程では、2年以上在学し、演習を含む所定の授業科目を履修し、別に学位論文を提出しなければならない。
- 4 博士後期課程は、3年以上在学し、演習を含む所定の授業科目を履修し、別に学位論文を提出しなければならない。
- 5 いずれの課程においても、特に優秀と認められた学生には、特例として在学期間の短縮が認められる。

## 平成24年度 一橋大学大学院経済学研究科担当教員一覧(予定)

### 経済理論・経済統計専攻

教授	斯波 恒正	教授	武隈 慎一	教授	田中 勝人
教授	山田 裕理	教授	福田 泰雄	教授	岡田 章
教授	蓼沼 宏一	教授	石倉 雅男	教授	齊藤 誠
教授	石村 直之	教授	本田 敏雄	教授	下津 克己
教授	黒住 英司	准教授	桑名 陽一	准教授	藤岡 敦
准教授	津田 照久	講師	国本 隆		

### 応用経済専攻

教授	田近 栄治	教授	水岡 不二雄	教授	寺西 俊一
教授	奥田 英信	教授	渡辺 智之	教授	石川 城太
教授	岡田 羊祐	教授	古沢 泰治	教授	塩路 悦朗
教授	佐藤 主光	教授	岡室 博之	准教授	山重 慎二
准教授	川口 大司	准教授	山下 英俊	准教授	竹内 幹
講師	徐 鳳晚				

### 経済史・地域経済専攻

教授	谷口 晋吉	教授	神武 庸四郎	教授	西成田 豊
教授	荒井 一博	教授	加藤 博	教授	池 享
教授	江夏 由樹	教授	佐藤 宏	教授	橋沼 克美
教授	大月 康弘	教授	城山 智子	准教授	今村 和宏
准教授	笹倉 一広	准教授	榎本 武文	准教授	南 裕子
講師	高柳 友彦				

### 比較経済・地域開発専攻

教授	久保庭 眞彰	教授	西澤 保	教授	浅子 和美
教授	都留 康	教授	深尾 京司	教授	渡部 敏明
教授	佐藤 正広	教授	北村 行伸	教授	黒崎 卓
教授	小塩 隆士	教授	青木 玲子	教授	櫻井 武司
教授	岩崎 一郎	教授	稲垣 誠一	教授	Wu Harry Xiaoying
教授	吉原 直毅	教授	堀 雅博	教授	小林 慶一郎
教授	阿部 修人	教授	森口 千晶	准教授	祝迫 得夫
准教授	雲 和広	准教授	神林 龍	准教授	小林 良行
准教授	有本 寛	准教授	小黒 一正	准教授	植杉 威一郎
講師	武田 友加	講師	小暮 克夫		